

可搬式排水ポンプ運転業務仕様書

業務番号 舞浸委第 2 号

業 務 名 可搬式排水ポンプ運転業務委託

履行場所 舞鶴市 字竹屋 地内

履行期間 契約日翌日から令和 7 年 12 月 26 日まで

舞鶴市 上下水道部 浸水対策課

第1条 (一般事項)

1. 本仕様書は舞鶴市所有の可搬式排水ポンプの運転業務(以下、「本業務」と言う)に適用する。
2. 主任技術者の選任等
主任技術者は、業務の履行に関して発注者の定めた監督職員等の指示等を受ける任にあたりとともに、受注者の業務の履行に関し、業務従事者に対して業務の指示、及び指導監督を行うものとする。
3. 現場責任者の選定等
受注者は、現場での履行時に発注者の定めた監督職員等の指示を速やかに実施するため、必要がある場合は主任技術者の代務者として現場責任者を定めることができる。ただし、事前に書面により監督職員等に通知するものとする。

第2条 (業務の概要)

本業務は、宅地・道路等における浸水被害の防止・軽減を図ることが目的であり、契約期間内に発生する可能性のある浸水に対応すべく監督職員等の指示により出動態勢を整え、可搬式排水ポンプを監督職員等の指示の下、浸水現場等へ運搬・稼働し排水作業を実施するものである。

[操作業務]

操作業務は、監督職員等から指示があった場合に、可搬式排水ポンプの運搬、浸水現場にてポンプの設置・操作を実施し、作業完了後は再出動が可能な状態にするための整備を行うものである。

[出動について]

出動は、監督職員等から指示があった場合、速やかに操作業務にかかる準備を行い、出動するものとする。

第3条 (業務の範囲)

1. 対象機械

本業務の対象機械は、次表に示す機械とする。

機械名	設備・機器	総重量	台数	保管場所
可搬型自吸式排水ポンプ	可搬型自吸式排水ポンプユニット ホース・フランジ類 その他付属品	約1700kg	5台	京都府舞鶴市字北田辺150番地 (大手ポンプ場敷地内)

2. 操作業務

- 1) 作業台数及び場所等詳細については、監督職員等の指示によるものとする。
また、災害等の発生により必要が生じた場合には、土曜日、日曜日及び祝祭日、さらに夜間においても作業業務を実施するものとする。
- 2) 受注者は、監督職員等からの出動指示があった場合は、体制を整え、ポンプ保管場所まで速やかに到着し搬送作業を開始すること。(体制を整えるとは、浸水した場合、長時間勤務が予測されるため、食糧、飲料、着替え等の準備を含める)
- 3) 可搬式排水ポンプの運搬にあたっては、運転手の他に目的地までの移動中に連絡及び車両の誘導を行うための要員を配置すること。
可搬式排水ポンプ 1 基あたり、準備・出動時にあつては 2 名、運転時にあつては 1 名の操作員を配置し、全員で準備を行い、排水作業開始後は、必要な場合を除き 1 名ずつ交代で監視にあたること。
なお、受注者の判断で要員を追加しても設計変更の対象とはしない。
- 4) 可搬式排水ポンプの運搬操作に必要なライトバン、トラック等準備できるようにしておくこと。
また、災害対策に必要な資機材の使用を追加指示する場合がある。
- 5) 排水作業が長時間にわたることが想定されるため、燃料補給のための燃料用ドラム缶などに燃料を満タンにして、監督職員等の指示により排水現場に配置するものとする。
- 6) 操作業務の実施内容は以下のとおりとする。
 - ①可搬式排水ポンプ稼働
浸水現場等での現場排水作業及び現場排水作業に伴う回送作業である。
 - ②トラック
上記、可搬式排水ポンプ及び必要な資材などの運搬に使用する。
 - ③ライトバン
上記、作業時に必要な作業員などの運搬に使用する。
- 7) 本業務における昼間とは 8 時～17 時、昼夜間とは 17 時～22 時及び 5 時～8 時、夜間とは 0 時～5 時、22 時～24 時までをいう。
準備及び撤収は安全確保のため昼間の時間帯に作業するものとし、監督職員等の指示によるものとする。
- 8) 操作業務完了後はポンプ及びホース等の点検と清掃を監督員等の指示により行い、ポンプの燃料を満タンにして保管場所に回送するものとする。
- 9) ポンプを操作しなかった月は、日常のメンテナンス目的のために 5 分程度運転すること（空運転でも可）。
- 10) 定期点検として、油脂類の確認を行うこと。確認箇所は、メカニカルシール・真空ポンプ・ディーゼルエンジンの 3 箇所である、また、本業務で全ポンプの油脂類交換費用を計上している。交換作業はポンプ納入業者がおこなうため、実施日等について調整を行うこと。なお、交換時期については指定しないが、排水作業に支障がでないよう計画すること。

第 4 条 （報告書の提出）

1. 本業務の履行にあたっては、業務計画書を速やかに監督職員等に提出すること。
なお、業務計画書の内容は下記の通りとする。又、現場責任者を選任した場合は業務履行体制表に記載するものとする。
 - 1) 業務概要
 - 2) 業務実施要領
 - 3) 業務履行体制表
 - 4) 連絡体制表
 - 5) 安全管理

- 6) その他監督職員等が指示したもの
2. 業務の履行中、不具合箇所及び修理箇所を発見した場合は、速やかに監督職員に報告を行うこと。
3. 監督職員等が履行確認上必要と判断した資料については、受注者は速やかに提出するものとする。
ただし設計変更の対象としない。
4. 操作作業終了後の資料の提出は下記のとおりとする。
 - 1) 写真
 - ・ 運行前点検状況
 - ・ 保管場所から出発する状況
 - ・ 排水現場に到着した状況
 - ・ 現地で排水準備が出来た状況
 - ・ 排水ポンプ投入状況
 - ・ 排水作業状況
 - ・ 操作業務完了後の清掃点検状況
 - 2) 排水ポンプ運転日報（点検記録表－１）
 - 3) 可搬型自吸式排水ポンプ運転点検記録表（点検記録表－２）
 - 4) 可搬型自吸式排水ポンプ不具合記録表（点検記録表－３）

第5条 （安全管理）

1. 受注者は、豪雨、出水、その他天災に対しては、平素から気象予報などについて十分な注意を払うものとする。
2. 受注者は、履行箇所及びその周辺にある既設構造物に対して支障を及ぼさないよう適切な処置を講ずるものとする。
3. 受注者は、浸水等により可搬型排水ポンプを配置する際、歩行者及び一般車両が進出出来ないよう車両運転者が見やすい位置に通行止め看板等を設置するものとする。

第6条 （事故報告）

1. 受注者は、事故が発生した場合には直ちに監督職員等に通報し指示に従うとともに、関係機関に届け出て必要な処置を講ずるものとする。

第7条 （器具等のき損）

1. 受注者は、可搬型排水ポンプ及び付属品を亡失し又はき損したときは、直ちにその事実及び事由について詳細な報告書を監督職員に提出してその指示を受けなければならない。
2. 前項の亡失し又はき損が受注者の責任に帰すべき事由によるときは、監督職員等の指示にしたがい機械を速やかに修理しまたはその損害を賠償しなければならない。
3. 災害その他不可抗力によって機械に損害が生じたときは、その損害について両者協議して決定するものとする。
4. 受注者は、災害対策用機械により第三者に損害を及ぼしたときは、その損害を賠償しなければならない。

第8条 （設計変更）

1. 契約期間内に複数回出動した場合は、実状に合わせ設計変更を行う。
2. 可搬式排水ポンプ運転業務については、実働時間により変更するものとする。

3. 実働時間のうち1時間に満たない時間を30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げた時間を対象時間とする。

第9条 その他

1. 受注者が行った点検にて、修繕・整備の実施を指示する場合がある。
2. 受注者は労災保険に加入すること。なお、労災保険成立証明又は成立済労働保険申告書の写しを監督職員等に提出すること。
3. この仕様書に明記されていない事項、又は不明、疑義を生じたときは監督職員等と受注者で協議して定めるものとする。
4. 業務契約後、ポンプメーカーによる操作説明が必要な場合は、協議すること。
5. 気象状況等により、本業務箇所に加えて他の箇所での排水作業を指示する場合がある。

排水ポンプ運転日報

機械名

型式

点検者氏名

印

機械番号

令和 年 月 日 天候

運 転 状 況	作業内容及び作業目的	運転時間	作業量	
		時間 分		
		時間 分		
		時間 分		
		時間 分		
		時間 分	主燃料使用量	L
修 理 又 は 整 備 内 容 等			操 業 時 間	
			始業時	時 分
			終業時	時 分
			計	

可搬型自吸式排水ポンプ 運転点検記録表

整理番号

責任者	立会者

建設機械番号

実施日 令和 年 月 日 (天候)

作業者所属

氏名 印

発電機稼働時間	ポンプ運転時間					
	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	

区分	点検項目	点検内容	判定基準	点検結果
ポンプ	排水状況	動作状態	排水運転していること	
	ポンプ外観	外観の目視確認	損傷、ひび割れがないこと	
	ケーブル外観	外観の目視確認	損傷、ひび割れがないこと	
	コネクタ	接触部の目視確認	損傷、取付部に緩みのないこと	
フロート	外観	外観の目視確認	損傷がないこと	
ホース	ホース	外観の目視確認	水の噴出、漏水の無いこと	
	金具	外観の目視確認	損傷、変形、部品の欠損がないこと	
		目視確認	水の噴出、漏水の無いこと	
制御盤操作	箱体	外観の目視確認	損傷、腐食等がないこと	
	表示部メータ類	目視確認	ランプ切、指示針の不動がないこと	
			各メータが規定値以上を示さないこと	
発電装置	発電装置	運転状況	異音、異常振動等なく運転できること	
		電圧確認（操作制御盤）	定格値であること	
		潤滑油量	潤滑油が規定値は行っていること	
照明	照明装置	目視確認	点灯すること	

その他記入欄

可搬型自吸式排水ポンプ 不具合記録表

建設機械名

型式

機械番号

令和 年 月 日 天候

点検者氏名 印

区分	不良箇所	処置
ポンプ		
フロート		
ホース		
制御盤		
発電装置		
照明		
車両関係		
搭載		